健康経営戦略マップ

健康投資

2026年度施策

【STEP1】安全・健康配慮施策

①時間外労働時間の削減

②休暇取得促進

③再検査受診率向上

【STEP2】意識付け

①運動習慣の動機付け

②がん予防・早期発見

③メンタルヘルス不調者

【その他】

・食生活改善
・喫煙者への取組み
・仕事と育児/介護の両立

- 月間残業時間の定期開示
- ノー残業デーの運用強化
- 休暇取得情報の定期的開示
- 業務改善策の推進
- 産業医介入の強化
- 健康をテーマにした動画研修実施
- がんおよびがん検診に対する情報提供
- 入庫5年目までを対象としたパルスサーベイ実施
- 健康/介護相談窓口の設置
- 健康チェック可能なアプリの提供
- 健康に配慮した食事の提供
- 各種サーベイの実施（エンゲージメントサーベイ、ストレスチェック、パルスサーベイなど）

健康投資効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標（KPI）

【STEP1】安全・健康配慮施策
・月45時間超3%以内
・平均時間外労働時間前年比削減
・年次有給休暇10日以上取得者数割合前年比増加
・再検査受診率100%

【STEP2】意識付け
・生活習慣（運動）割合の前年比改善
・がん検診率前年比改善
・メンタル不調による休業者前年比減少

各種サーベイの項目改善
・エンゲージメントスコア
・ストレスチェック
・SPQ

動画視聴率

職員等の意識変容・考動変容に関する指標

- ワークライフバランスの浸透（残業時間、休暇取得日数の改善）
- 疾病予防、健康増進の意識醸成（再検査対象者率減）
- 生活習慣の改善による心身状態改善（健診結果、SPQのスコアアップ）
- 風通しがよく互いを認め尊重しある風土の醸成（ストレスチェック、エンゲージメントスコアアップ）

健康関連の最終的な目標指標

- エンゲージメント（働きがい、働きやすさ）
- プレゼンティーイズム（生産性）
- アブセンティーイズム（健康増進）

経営理念

魅力ある職場を通して、職員とその家族の幸せを実現する

健康経営の推進方針

最も重要な経営資源である職員の心身の健康状態を支え、働きがい、やりがいのある職場環境を整備することで、職員一人一人が心豊かなで健康で働くことを実現し、職員の成長と生産性向上につなげる。
健康経営に取り組むことで、経営理念である魅力ある職場を通して、職員とその家族の幸せを実現することを方針とし、地域社会の発展に資することを目的とする。

健康経営の目標

・働きがい、やりがいのある職場環境の実現
・職員一人あたりの生産性向上

KGI

・1人あたりのコア業務粗利益17百万円以上
・中途離職者率3%未満



職員の健康課題

・ストレスや職場環境への適応不調によるメンタル不調者（5年目までの若手職員）の増加

・運動習慣の不足による生活習慣病リスクの増加

・定期健診受診率100%維持およびがん検診等の任意検診の受診の働きかけによるガン予防の推進



健康風土の醸成

【健康経営の浸透状況】
・経営トップによる定期的な発信
・健康経営推進方針への理解度
・経営トップと職員間の対話機会の確保

【方針実現のための体制・環境】
・健康経営責任者の設置
・健康経営統括組織の設置
・産業医等の専門職の設置
・保険者との連携

【サポート、組織支援（POS）、WSC等】
・ストレスチェックの「上司の支援/同僚の支援」の得点
・従業員エンゲージメント得点